

## 指定管理者評価シート

事業名	札幌コンベンションセンター	所管課(電話番号)	経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課(011-211-2376)
-----	---------------	-----------	---

## I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌コンベンションセンター	所在地	札幌市白石区東札幌6条1丁目1番1号
開設時期	平成15年6月1日	延床面積	20,310㎡
目的	内外の優れたコンベンションの開催の場を提供することにより、人々の来訪や交流を促し、もって地域経済の活性化及び市民文化の向上をはかる。		
事業概要	大ホール、特別会議場その他の施設を使用に供すること。その他センターの設置目的を達するために必要な事業。		
主要施設	大ホール、中ホール、小ホール、特別会議場、会議室(15室)、レストラン		
2 指定管理者			
名称	SORA-SCG共同事業体(代表団体:(株)コンベンションリンケージ、構成団体:(株)東洋実業)		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、貸館業務(利用料金制度)、コンベンション誘致業務、施設使用承認業務、事業の計画及び実施業務		
3 評価単位			
	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

## II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価			
1 業務の要求水準達成度						
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>札幌コンベンションセンター条例における設置目的を理解し、管理運営を行うとともに、以下3つの方針を策定した。</p> <p>①稼働率および国際会議誘致件数の増加に努める ②市民文化・地域連携の強化 ③省エネ施設の確立を目指す</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>法令を遵守し、公正・公平な運営を行う等方針を策定し、徹底をした。またホームページ上では、主催団体より公開許可を得られた催事情報を可能な限り積極的に公開した。</p>	<p>札幌市と札幌コンベンションビューローと連携して首都圏営業を行った。また国際会議誘致のために、ビッドペーパー作成など行い、誘致成功につなげた。現在誘致中国国際会議においても、引き続き積極的に活動していく。また、インセンティブツアーの誘致営業を拡大して行うなど、海外プロモーションにも力を入れた。</p> <p>2月冬季アジア大会メディアセンターでは、自主事業として茶道体験や大会公式マスコットのエゾモンの雪像を制作し、海外メディアから好評を得た。メインメディアセンター</p>	A	B	C	D
			引き続き、高い稼働率を維持しており、国際会議や学会の誘致を積極的に行っている。また、国際会議誘致のために、ビッドペーパーの作成を行い誘致成功につなげる、インセンティブツアーの誘致営業を拡大して行う等、市の政策実現に貢献していると認められる。 なお、省エネについては、夏季間の平均気温が高く推移した中でこまめな調整を行う等、環境に配慮した施設づくりの推進を進めており、評価できる。			

## ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼ 年間ガス使用量は、夏季間の平均気温が平年よりおよそ1.5℃高く推移したことにより前年比12.5%の増加はあったが、省エネ対策による冷暖房負荷の低減と、設備機器稼働調整を行い、使用量アップの圧縮に努めた。

▼ 電気使用量は、夏季間の平均気温が平年よりおよそ1.5℃も高く推移したこと、2月冬季アジア大会メディアセンターとして24時間対応したこと等により前年比3.5%の増加となった。このような状況のなかで、各種省エネ対策をはじめ、設備機器類のこまめな稼働調整により、使用量アップの圧縮に努めた。

▼ ゴミ排出量の削減と社会貢献のため、館内にペットボトルキャップ回収ボックスを設置し、回収したキャップをエコキャップ推進協会に送付した。  
平成28年度は12,879個回収、累計回収数105,169個

## ▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼ 統括管理責任者を定め、その下で組織整備し、従事者を配置した。

▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。

▼ 人材育成においては、年間を通して研修を実施した。

▼ 研修計画に基づき社員研修を以下の通り実施した。

4月 設備業務研修

5月 設備業務研修

6月 設備業務研修、警備員研修(法定)自衛消防隊訓練

7月 清掃業務研修(法定)、設備業務研修

8月 設備業務研修

9月 設備業務研修

10月 設備業務研修、防災研修(避難所運営/東札幌第5町内会・札幌コンベンションセンター合同)

11月 警備員研修(法定)、清掃業務研修(法定)、設備業務研修、EMS(環境マネジメント)研修

12月 設備業務研修

1月 設備業務研修、自衛消防隊訓練、身障者介助研修(車いす補助実習)

2月 会議運営研修、設備業務研修、サイバーテロ対策研修

3月 設備業務研修、普通救命講習

## ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

共同事業体の定例会議のほか、実務者全体会議、グループ会議等を最低月1回定期的に行うとともに、イントラネット、クラウドストレージ等を利用して情報共有および改善事項・依頼事項等の意見交換を行い、業務の向上に努めた。

## ▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

レストラン運営事業、舞台技術業務、各種設備保守点検を第三者委託とし、業務が適正に履行されるよう管理監督を行った。委託先とは都度協議を行い、サービスクオリティを向上するための協力を得て、業務履行していることを確認した。

の運営に関しては24時間体制の中、無事その役割を果たした。

省エネ対策に積極的に取り組み、札幌市が掲げる夏季及び冬季率先節電対策の目標削減率を達成した。

通常研修に加え、冬季アジア大会に向けてのサイバーテロ対策研修、また平成28年4月から施行された「障がい者差別解消法」を受けての障がい者介助研修、地域連携として町内会との合同避難所運営研修などを行い、職員のスキルアップに努めた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)		
開催回	協議・報告内容	
第1回 6月30日	・主な予約催事・自主事業報告 ・経済波及効果調査最終報告 ・平成28年度修繕・備品購入計画等	
第2回 10月5日	・主な予約催事について ・冬季アジア大会メディアセンター準備状況 ・利益還元における修繕費の増額について等	
第3回 12月22日	・誘致/営業・修繕・自主事業実施進捗報告 ・屋外の喫煙場所移動について ・札幌市緊急修繕工事の進捗について	
第4回 3月7日	・誘致/営業・修繕・自主事業実施進捗報告 ・膨張タンク故障報告/1階喫煙コーナー改善報告 ・利益還元制作物について	
<協議会メンバー> 札幌市、(株)コンベンションリンケージ、(株)東洋実業		
▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)		
▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとに区分経理を実施するとともに共同事業体の代表団体による会計監査を実施している。また、現金の取扱については、取扱規定に基づき適正に管理を行った。		
▽ 要望・苦情対応		
▼ 要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、職員に周知している。		要望・苦情などといったご意見については、各種適切に対応した。また受動喫煙対策を行い、利用者サービスの向上に努めた。
▼ ホームページ上に「お客様の声」ボタンを設置し、意見を寄せられた方へは迅速に対応し、適切な処理を行った。		
▼ 利用者から苦情があった受動喫煙対策については、南口及び西口の玄関前にあった灰皿を撤去し、屋外展示場奥の1か所のみとした。また、館内喫煙スペースについても煙の漏れをなくするよう改善を行った。		
▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)		
▼ 施設内にアンケートボックスを設置するとともに、自主事業開催時での配布、催事終了時での主催者への依頼等を積極的に行い、客観的な指針の一つとしてサービス向上に努めた。		
▼ セルフモニタリングにより業務改善を行った。		

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 関係法令を遵守し、必要な届出は監督官庁に行なった。</li> <li>▼ 職員に対する給与、賃金等の支払を適切に行なった。</li> <li>▼ 労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。</li> <li>▼ サービスの向上、管理経費の縮減に取り組むため、各部門別および全体で定期的にミーティングを行った。</li> <li>▼ ワーク・ライフ・バランスの取組(振替休暇制度やさっぽろ市民子育て支援宣言等)を適切に実施した。</li> </ul>	<p>ワークライフバランスの取り組みとしては、育児休暇制度の利用を推進するなど職場環境の整備に努めた。職員のモチベーションを高め、個々のサービス力をアップし、管理経費縮減の意識づくりも十分に行われた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 25%; text-align: center; background-color: #ffff00;">B</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">C</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">要求水準が達成されている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	要求水準が達成されている。			
A	B	C	D								
要求水準が達成されている。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 樹木・外壁等の事故を未然に防ぐため、定期的な外周点検を行い、利用者の安全に努めた。</li> <li>▼ 不審者対応マニュアル、防災計画、震災時等の非常時マニュアルを整備した。</li> <li>▼ 市民・利用者サービス向上のため、臨時休館日は減らし、通常の電話受付時間も延長して対応した。</li> <li>▼ 緊急連絡網を整備し、職員並びに札幌市はじめ関係機関に周知をはかった。</li> <li>▼ 損害賠償保険は仕様に適合したものに加入した。</li> </ul> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 施設・設備等の維持管理については仕様書の通り、業務を遂行した。</li> <li>▼ サービス向上として特別会議場スクリーンの更新を利益還元として実施した。</li> <li>▼ ファシリティマネジメントの観点から予防保全実施項目を札幌市と協議し、施設の経年劣化を最小化し、施設の長寿命化を図った。本年度は、大ホール空調機インバーター更新、駐車場管制システム整備、真空温水ヒーター整備、井水ポンプ整備・更新、仮設ステージ(大・小)修繕、館内ネットワーク機器更新、調光装置直流電源及びマグネットリレー交換等を実施した。更に、札幌市保全推進事業として大ホール舞台機構設備吊物ワイヤー交換及び東側ガラス面漏水補修を実施した。</li> </ul> <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 消防法の規定に基づき、消防用設備等の点検を実施した。</li> <li>▼ 防災訓練および職員への研修を年2回実施し職員の意識向上につなげた。</li> <li>▼ さらに、札幌市の基幹避難所として備蓄物資の保管など有事の際の体制作りに努めた。</li> <li>▼ 札幌市危機管理対策室、北海道危機管理対策室のご協力のもと、今回は札幌市保健福祉局から講師を派遣いただき、東札幌第五町内会と合同で避難所の運営についての研修を実施した。</li> </ul>	<p>利用者及び近隣住民の皆様の安全と安心を確保する為、北海道警察や白石消防局の協力のもと、各種教育訓練を受講させたことで、スタッフ全員の防犯・防災レベルが格段に向上した。</p> <p>維持管理業務においては、築15年を超えて経年劣化が進む中、各種設備の運転状況や保守点検の結果に基づき適切な処置を講じた。さらに設備の寿命を予測、中長期修繕計画に反映することで、施設の長寿命化と多大なコストを要する設備更新の周期延長に繋がった。</p> <p>また、仕様通りの清掃回数では施設の美観を保つことが困難であったため、特別清掃を積極的に実施するなど、資産価値の維持向上に努めることができた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 25%; text-align: center; background-color: #ffff00;">B</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">C</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">要求水準が達成されている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	要求水準が達成されている。			
A	B	C	D								
要求水準が達成されている。											

<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ コンベンション誘致・営業に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 国際会議営業については、主に国内都市間競争のための提案書を作成して積極的な誘致活動を行い、現在も引き続きアプローチ中である。</li> <li>▼ 政府系国際会議の国内開催地立候補のためのアプローチを積極的に行った。</li> <li>▼ 誘致営業活動は、札幌市、札幌コンベンションビューロー、札幌市東京事務所等各関係機関と協力をし、政府・国連、大学や研究機関、企業等、幅広い分野においてアプローチを行った。</li> <li>▼ 代表団体東京本社内にある東京オフィスや会議運営部門によるピンポイント営業およびフォローアップを行い、国際会議や学会、全国大会、企業系展示会等、誘致件数を伸ばした。</li> <li>▼ 全国で行われるIT系展示会を今年度札幌初開催として誘致した。</li> </ul> <p>▽ 主催者へのサービス提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 館内情報コーナーには、札幌市観光情報やサービス、飲食店、市内他施設の情報量も充実させ、より多くの情報収集に努めた。</li> <li>▼ 札幌観光協会等と連携し、観光情報の提供を冊子やアプリなどツールを積極的に紹介した。</li> <li>▼ 主催者の利便性を高くするため、ワンストップサービスの提供を行った。 (各種手配業務のサポート、運営スタッフの手配等)</li> </ul>	<p>誘致営業活動は、札幌市、札幌国際プラザ・札幌コンベンションビューロー、札幌市東京事務所等各関係機関と協力し行い、誘致成功率が高くなっている。</p> <p>現在誘致中国際会議が複数件あるが、ビッドペーパーやプレゼンテーションのサポートなど継続して行っており、引き続き積極的に行っていく。</p> <p>また誘致にとどまらず、準備段階～会議開催当日においては、積極的にワンストップサービスやコンサルティングサービスを行い、主催者・参加者から好評を得ることができた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: #ffff00;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> <p>札幌市や札幌国際プラザと連携を図り、市の政策実現に寄与するターゲットへのアプローチを実施している点で、要求水準は達成されていると認められる。</p>	A	B	C	D																												
	A	B	C	D																															
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名称</th> <th style="width: 12.5%;">H27実績</th> <th style="width: 12.5%;">H28計画</th> <th style="width: 12.5%;">H28実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大ホール</td> <td>84.2</td> <td>80.0</td> <td>81.6</td> </tr> <tr> <td>中ホール</td> <td>75.1</td> <td>60.0</td> <td>74.5</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>66.9</td> <td>60.0</td> <td>62.6</td> </tr> <tr> <td>特別会議場</td> <td>56.2</td> <td>60.0</td> <td>58.4</td> </tr> <tr> <td>会議室(15室)</td> <td>75.2</td> <td>60.0</td> <td>71.3</td> </tr> <tr> <td>来館人数</td> <td>463,204</td> <td></td> <td>412,766</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 例年閉館していたゴールデンウィーク、夏季お盆期間も開館し自主事業を実施した。</li> <li>▼ 貸出備品の営繕業務を常に行い、利用者には不便さを感じさせないようにした。</li> <li>▼ 稼働率の低い特別会議場の利用促進に努めた。自主事業では長期開放し、特別会議場に訪れていた多く機会を増やした。また、会議以外での開催例としてコンサートや映画会等を行った。</li> </ul>	名称	H27実績	H28計画	H28実績	大ホール	84.2	80.0	81.6	中ホール	75.1	60.0	74.5	小ホール	66.9	60.0	62.6	特別会議場	56.2	60.0	58.4	会議室(15室)	75.2	60.0	71.3	来館人数	463,204		412,766	<p>引き続き安定した稼働率を達成できた。催事のないゴールデンウィーク、夏季休暇期間に自主事業を開催し、市民参加の機会を作った。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: #ffff00;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> <p>来館人数が減少している一方で、特別会議場の利用件数以外は計画を上回っていることから、要求水準は達成されていると認められる。</p>	A	B	C	D
名称	H27実績	H28計画	H28実績																																
大ホール	84.2	80.0	81.6																																
中ホール	75.1	60.0	74.5																																
小ホール	66.9	60.0	62.6																																
特別会議場	56.2	60.0	58.4																																
会議室(15室)	75.2	60.0	71.3																																
来館人数	463,204		412,766																																
A	B	C	D																																

(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼ 今年度は、冬季アジア大会のメディアセンターとして利用いただいたことで、札幌コンベンションセンターとしての自主事業を複数回行い、アジア圏へメディアアピールした。 ▼ 施設内に設置している情報コーナーやポスター掲示コーナーには、札幌市の施策にかかる情報を積極的に広報した。 ▼ 札幌市シティプロモートの推進の一つである「SAPP_ROパートナーズ」会員登録企業となっている。職員には「SAPP_ROロゴバッジ」を着用させている。 ▼ ホームページは公開可能な催事を随時更新し、また自主事業の開催情報などはホームページに加えブログやSNSにも掲載し、広報展開を行った。 ▼ ラジオやTV CM等マスメディアと連携するタイアップ事業を通して、利用促進と連動し広く広報活動を行った。 ▼ 前年度に続き、羽田空港への電飾看板の掲出、経済紙への全面広告、MICE情報専門誌への広告掲載を行った。	冬季アジア大会メディアセンターからの情報発信として、積極的に自主事業を行い広報業務を行った。 東高美術部の協力によりエゾモン雪像を製作した。非常に好評を得て、国内外のメディアから取材を受けるなど、効果的なアピールが出来た。 札幌市観光・MICE推進課が主管となり行っている各種イベントにおいて、協賛金協力や広告の掲載等行い、広報活動を行った。 マスコミとの連携により、TV CMでコンベンションセンター開催告知を繰り返し行い、市民道民への広報宣伝を行い、認知度アップにつなげた。	<table border="1"> <tr> <th style="width: 25%;">A</th> <th style="width: 25%;">B</th> <th style="width: 25%;">C</th> <th style="width: 25%;">D</th> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">                             市の施策に関わる広報に大きく寄与しており、また、来館者向けの情報提供コーナーを更に充実させる等、市の政策実現に寄与するものと認められる。                         </td> </tr> </table>	A	B	C	D	市の施策に関わる広報に大きく寄与しており、また、来館者向けの情報提供コーナーを更に充実させる等、市の政策実現に寄与するものと認められる。			
	A	B	C	D							
市の施策に関わる広報に大きく寄与しており、また、来館者向けの情報提供コーナーを更に充実させる等、市の政策実現に寄与するものと認められる。											
▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継業務なし)	▽ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種委員として活動した。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・さっぽろ MICE 推進委員会</li> <li>・札幌市国際観光誘致事業実行委員会</li> <li>・札幌市国内観光プロモーション実行委員会</li> <li>・北海道MICE推進協議会</li> <li>・白石区ふるさと会(役員)</li> </ul> </li> </ul>										

2 自主事業その他			A	B	C	D	
▼ 自主事業 ▼ 自主開催(共催、後援、協力含む)			毎年開催している「SORAこそだてフェスティバル」は、今回初めて札幌市子ども未来局との合同開催を実現し、名称も『こそだて★さっぽろ』として、広く市民・道民の方々に参加いただき、子育て支援の一助となることができました。  また、冬季アジア大会では、雪像製作や茶道体験等のおもてなしで国際親善に寄与し、また市民向けには普段入ることのないメディアセンターを見学できるツアーを企画する等し、地域連携にも寄与した。	冬季アジア大会に合わせた自主事業を行い、事業を通じて国際親善、地域連携に寄与したと言えるため、自主事業としての取り組みに高い成果があったと言える。			
4月	超キャラスポ2016	共催					
5月	とりつくアート展	共催					
7月	カルチャーナイト2016	主催					
8月	プラレール博 in SAPPORO	共催					
	夏休み大宇宙博	共催					
11月	コンベンション・MICE講座	主催					
12月	こそだて★さっぽろSORAこそだてフェスティバル2016	主催					
1月	札幌姉妹都市スペシャルディ	共催					
2月	冬季アジア大会メインメディアセンター「ウェルカム雪像(エゾモン)製作」	主催					
	冬季アジア大会メインメディアセンター「市民見学ツアー」	主催					
	冬季アジア大会メインメディアセンター「ウェルカム事業(野点)」	主催					
	冬季アジア大会メインメディアセンター「大会ダイジェスト放映」	主催					
3月	SORA懐かしのシネマ上映会Vol.6	主催					
▼ 飲食物販 ● レストラン事業を行った。 ▼ その他手数料収入等 ● 弁当・ケータリングサービス等行った。							
▼ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼ 第三者委託はおおむね市内企業に発注した。 ▼ 管理業務には、障がい者を雇用している。 ▼ 障がい者介助研修を実施した。							
3 利用者の満足度							
▼ 利用者アンケートの結果			目標回収数を達成できた。 また会場利用の希望・要望の声を参考に施設管理を行い、満足度をあげていくことが出来た。	A	B	C	D
実施方法	施設内にアンケートボックスを設置すると同時に、利用者および来場者に対して、アンケートを実施した。5段階の回答を数値換算して100点満点とし、各項目80点以上を目指した。(回答件数 276件) また自主事業においても毎度アンケートを実施し、市民の声を次の企画に参考とするようにした。			全ての項目において要求水準を10%以上上回っており、また、アンケートの回収率も向上していることから、利用者の満足度向上に向けた取組に高い成果があったと認められる。			
結果概要	① センターの総合的な印象について 92.2点 ② スタッフの対応について 91.3点 ③ サービスの提供について 90.5点 ④ センターの清掃状態について 93.6点						
利用者からの意見・要望とその対応	・スタッフの対応:いつも親切に対応いただいています。 ・機器の使用方法などアドバイスや延長コードなどの設備の用意があり大変助かりました。 ・清掃状況はトイレ内もきれいでした。 ・来場者・参加者とも満足しています。今後も利用したいと思いますので、よろしくお願いします。 ・毎年利用しているが、スタッフの方がよく対応してくれて施設も綺麗で使いやすい。						

4 収支状況				全般的に収入は計画を上回ることが出来た。  支出においては、最小限のアップに抑えることが出来た。	A B C D 支出は計画を上回っているものの、自主事業の取り組み等により、収入は増加しており、収支は計画より良好である。
▽ 収支 (千円)					
項目	H28計画	H28決算	差(決算-計画)		
収入	541,400	551,052	9,652		
指定管理業務収入	514,300	516,007	1,707		
指定管理費	0	0	0		
利用料金	291,300	291,591	291		
その他	223,000	224,416	1,416		
自主事業収入	27,100	35,045	7,945		
支出	426,351	435,910	9,559		
指定管理業務支出	401,848	405,529	3,681		
自主事業支出	24,503	30,381	5,878		
収入-支出	115,049	115,142	93		
利益還元	100,000	100,000	0		
法人税等	14,032	14,103	71		
純利益	1,017	1,039	22		
▽ 説明					
▼利益還元について 札幌コンベンションセンターの管理に関する協定書第17条に定める利用料金の納付等に基づく利益還元該当					

<確認項目> ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持		適	不適
▼選定時と同様、安定経営能力を維持している。			
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応		適	不適
▼ 利用申込者に渡す利用案内に暴力団排除の文言を入れている。			
▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。			

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
誘致活動については札幌市と札幌コンベンションビューローとの連携を強化し、首都圏営業するなど積極的な活動を行った。また特に札幌コンベンションビューローとは、誘致のためのビッドペーパー作成等協力体制を強化した。 毎年12月に開催する「こそだてフェスティバル」は、札幌市子ども未来局と合同開催した。 札幌コンベンションセンターの認知度を広くアピールするとともに、札幌市の政策を踏まえながら事業展開を行うことができた。	札幌市をはじめ関係機関と連携し、さらにMICEの誘致活動を積極的に行い、誘致成功件数アップに努めたい。また利用者満足度を向上させ、安全・快適な施設管理に努め予防保全にも積極的に取り組みたい。 さらに自主事業を通して、継続的に地域連携を行っていく。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
全体を通して目標水準を達成しており、更に誘致活動や省エネ等、札幌市の政策実現や課題解決に向けた取り組みを積極的に展開していることは大変評価できる。	引き続き、施設利用率向上のために積極的な誘致活動を実施していただき、利用者満足度の向上のための取り組みを行っていただきたい。